いきいきグループ ⑪

高楼祭(こうろうさい)の成功をめざして

—吉原高校青少年赤十字部—

△手話(歌)の練習にも熱が入ります

私たちは青少年赤十字活動を通して、さまざまなボランティア活動を行っています。主なものとしては、市内在住の障害者宅を訪問する「小さな友達運動」や福祉施設の季節ごとの行事の手伝い等です。現在は今月24日に行われる「高楼祭」(文化祭)の準備で大忙しです。

「高楼祭」では聾唖(ろうあ)について研究調査したことを発表したり、自作自演の劇や手話をつけた歌を披露する予定です。劇は毎年障害者への理解を広げるために、実話に基づいてシナリオをつくり部員全員の手で上演します。ことしは、家庭の事情により養護施設へ入ることになった少女を中心に話を展開し、施設で生活している子供たちへの偏見がなくなるように呼びかけます。歌は小さな友達運動で訪問している渡辺雅嗣さんが作詞された歌と「夢をあきらめないで」に手話をつけたものを歌います。あと数日で本番なので、全員一生懸命練習しています。

こちら編集室

市役所には、職員の自主研究グループが多くあります。我々のグループ「ウォークスルー」もその一つ。

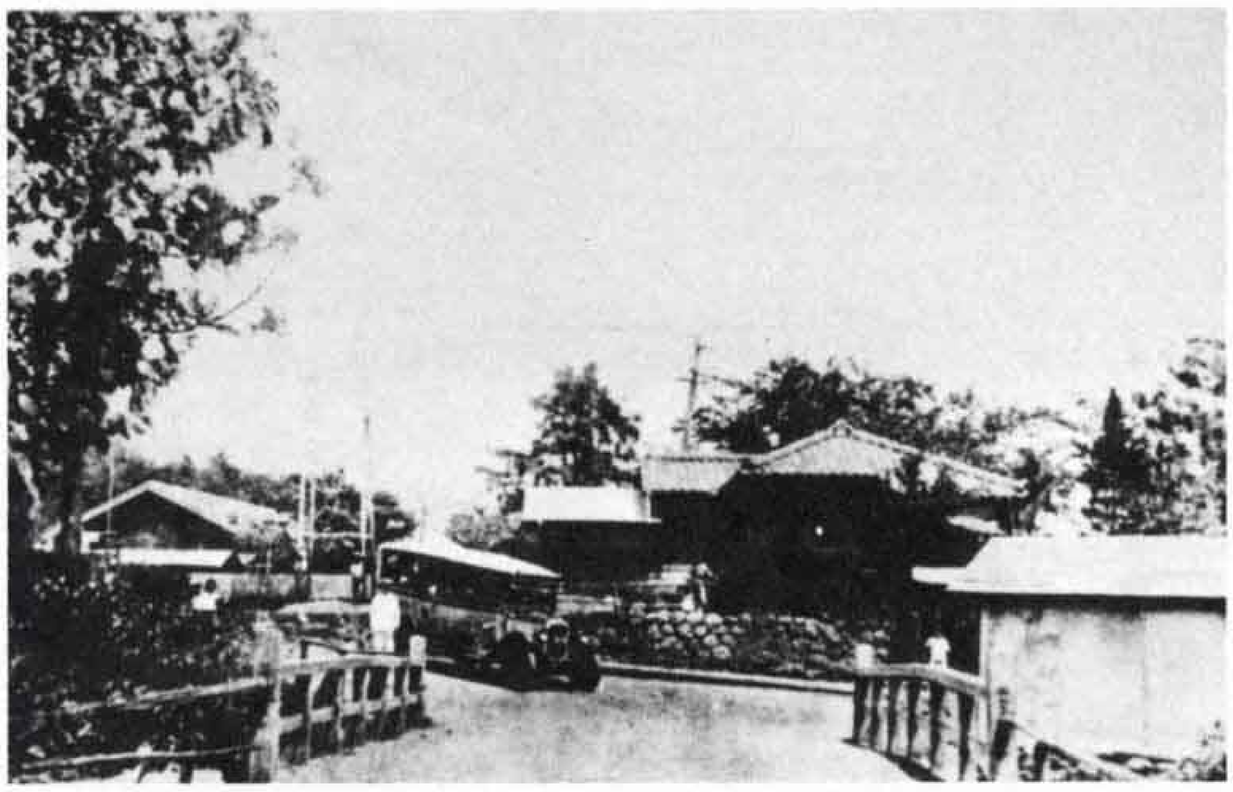
活動は、刻々と変わる我が街の都会的な顔や歴史的な顔をカメラによって切り取り、明日の富士市を見据えようというものです。あなたの感じる富士市の顔がありましたら御一報を!!

富士の今と昔 ㊸

今 橋も拡幅されて車の流れもスムースに

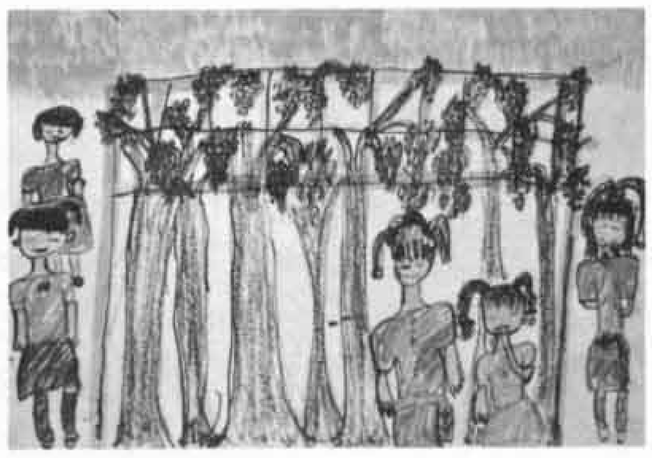
昭和の初期の神戸橋(神戸)です。橋のたもとに住む渡辺延男さんのお話。「中央の建物が校長住宅で、その向こうが小学校だったね。杉やヒノキの苗を積んだ馬力がこの橋を渡って鈴川まで通ったもんだ。校長住宅と橋の間を『辻』と言ってね。毎年一月十四日のどんどん焼きの晩には、村中の人が集まって火を囲み、お茶やお菓子、もちなんか食べながら朝方まで世間話に花を咲かせたもんだよ」

昔 道を行き交う人たちはこの辺でよく一服しました



ぼくの作品 わたしの作品

吉永第二小学校一年生のお友だちは夏休みの思い出を絵にかきました。海水浴や旅行…みんな楽しい思い出ですね。



くらしましほ

なつやすみに、お母さんやおばちゃんたちとブドウがりにいきました。お母さんにだっこしてもらってブドウをとったよ。とってもおいしかったです。

あんどういっき

なつやすみに、花火をしたよ。お父さんとお母さんとしたよ。お父さんに火をつけてもらったら、花火がきいろとあかとくろにひかったよ。きれいだったよ。

発行・富士市役所 富士市永田町1丁目100番地 ☎51−0123 人口 222,675人 男 110,515人 女 112,160人
編集・総務部広報広聴課 世帯数 65,051世帯 (9月1日現在)